

CADEWA Smart V2.0

～外部参照編～

目次

外部参照ファイルを配置してみましょう

1. 図面上に参照ファイル呼び出ししよう
 - ・ 図面を開く
 - ・ レイヤー作成
 - ・ 参照ファイル呼び出し
 - ・ 入力レイヤの指定
 - ・ 参照ファイルの配置
 - ・ 参照ファイル移動
2. レイヤー分解して参照ファイルのレイヤー状態を確認しよう
 - ・ レイヤー分解設定
 - ・ 図面のレイヤー分解

マウスの使い方

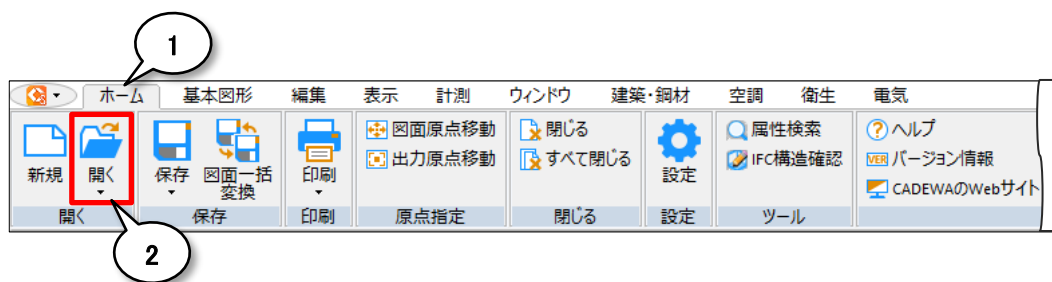
- | | |
|--|-----------------------------------|
| | …指示位置をクリック（左クリック）します。 |
| | …指示位置をマウス右ボタンでクリックします。 |
| | …指示位置をダブルクリック（左2回クリック）します。 |
| | …マウスを表示位置に近づけます。 |
| | …[Ctrl]キーを押しながらクリック（左クリック）します。 |
| | …[Shift]キーを押しながらクリック（左クリック）します。 |
| | …マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。 |
- 右ドラッグマウス移動

図面上に参照ファイルを読み込みましょう

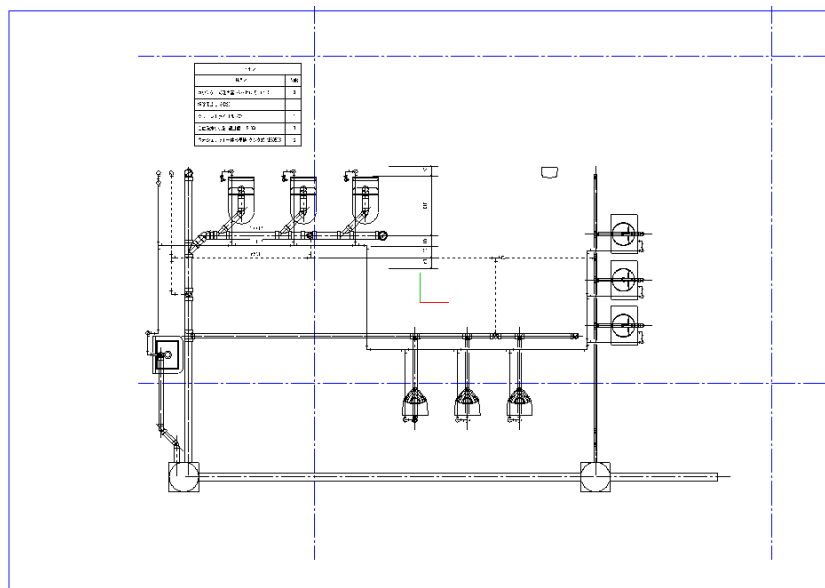
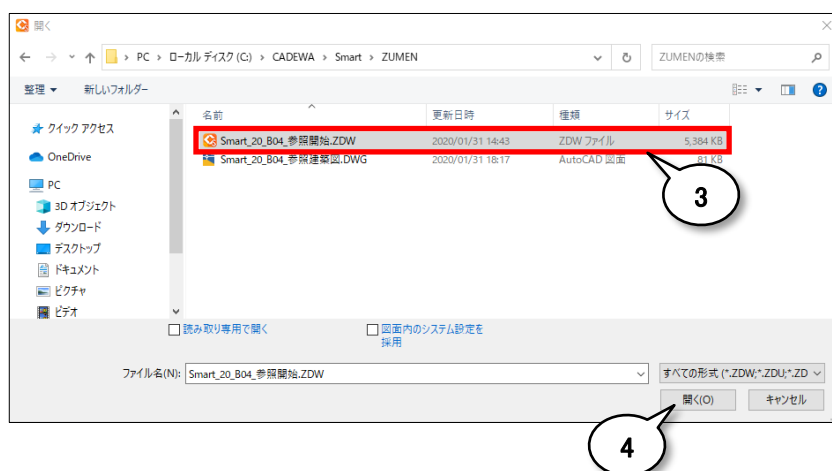
➤ 図面を開く

使用する図面は[Smart_20_B04_参照開始.ZDW]

リボンの「ホーム」から「開く」をクリックします。

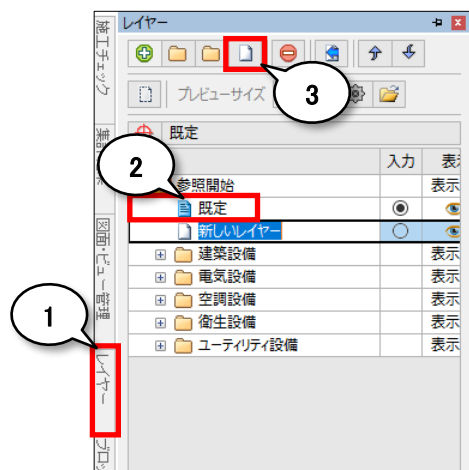


ファイルを選択し、「開く」をクリックします。



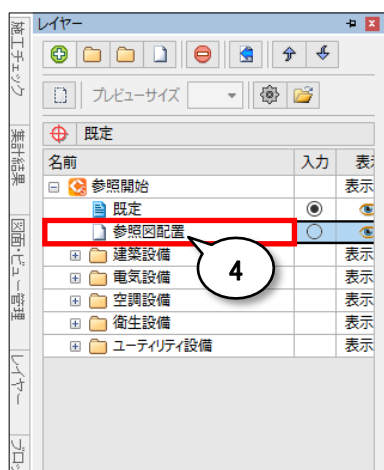
➤ レイヤーの作成

パネルの「レイヤー」から「新規作成」ボタンをクリックします。



参照ファイル配置用のレイヤーを作成します。参照ファイルは、呼び出す際に選択していたレイヤーとシートに配置情報が置かれます。配置情報を置いたレイヤーもしくはシートが非表示に設定されると、参照ファイルも非表示になります。参照ファイルを配置する際は、作画オブジェクトと混在しないレイヤーやシートを選択しておきましょう。

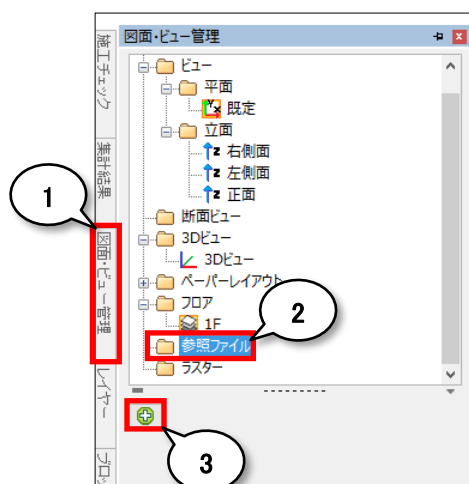
レイヤーの名称「参照図配置」を入力します。



➤ 参照ファイル呼び出し

使用する図面は[Smart_20_B04_参照建築図.DWG]

パネルの「図面・ビュー管理」から「参照ファイル」→「追加」ボタンをクリックします。



ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

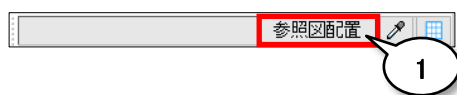


「ビュー設定」で既定ビューの「表示」をONにし、「OK」をクリックします。



➤ 参照ファイルの配置

入力レイヤーを指定します。

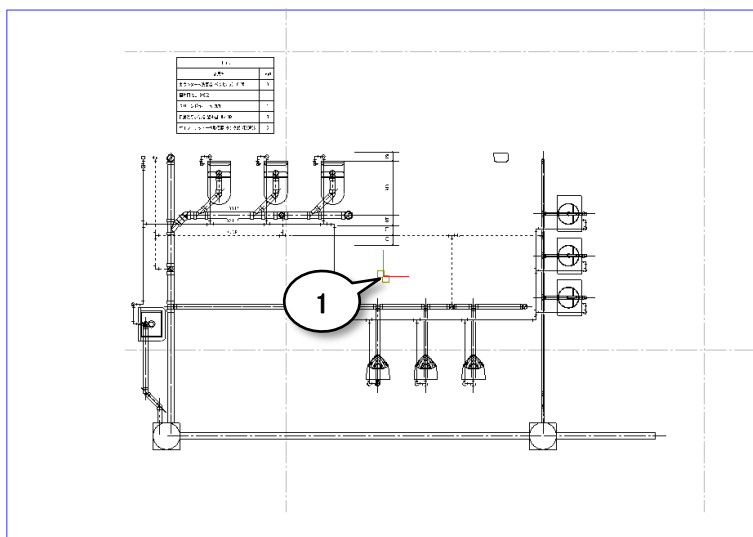


先ほど参照ファイルを配置する用に
作成したレイヤーを選択します。

「スナップ」の「ベクトル」「XYZ」をOFFにします。

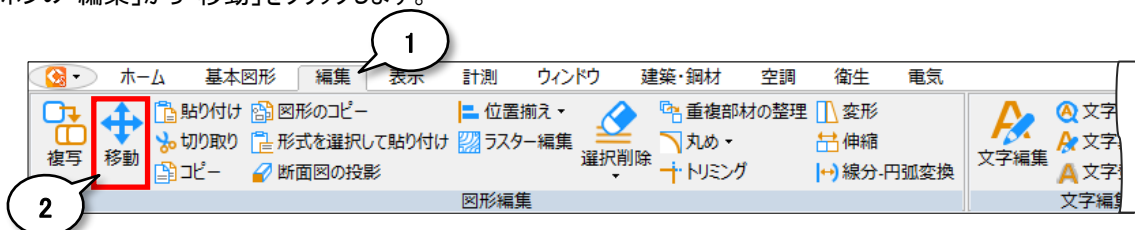


呼び出した参照図面の配置位置を指示します。

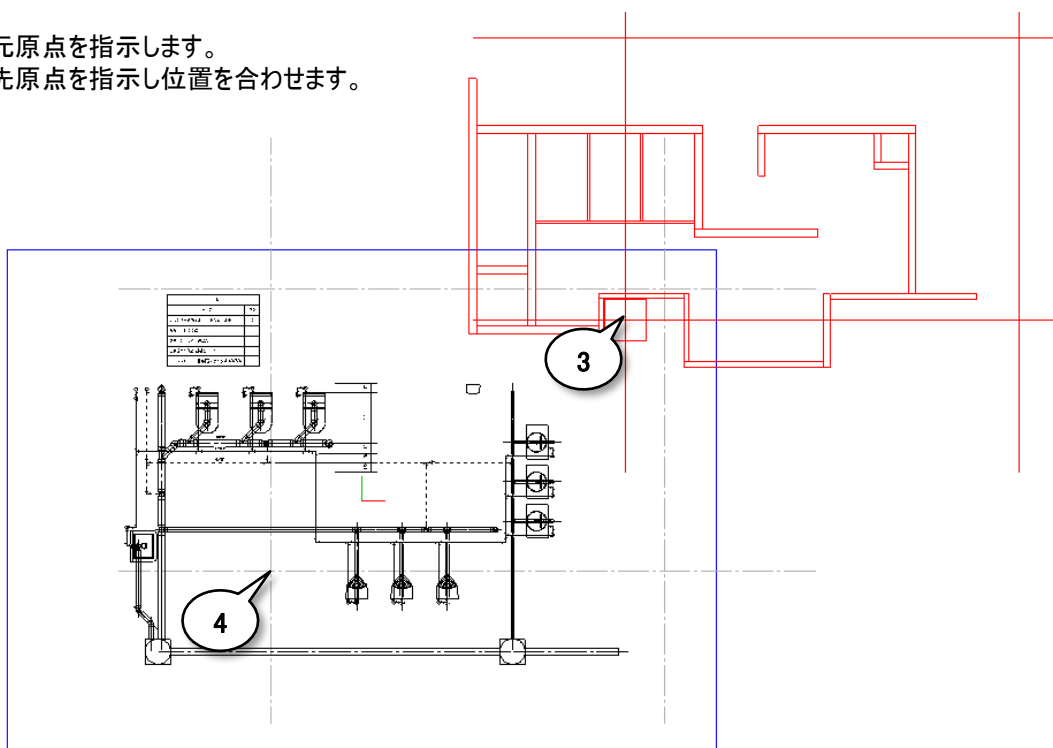


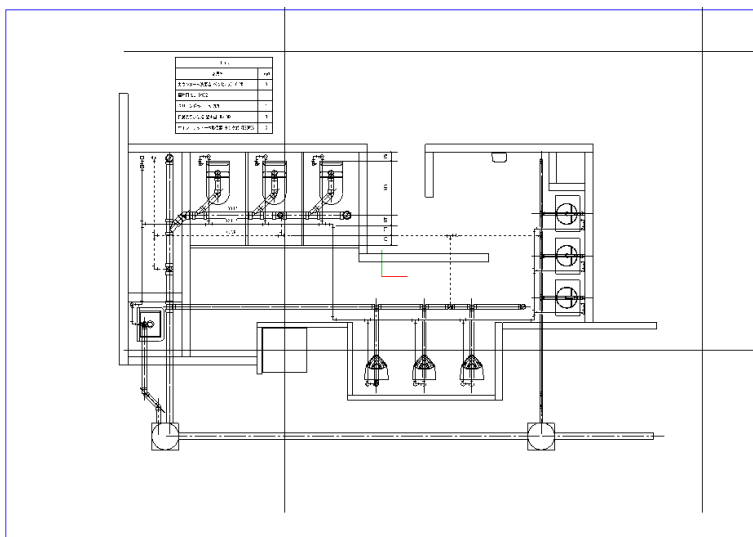
➤ 参照ファイル位置の移動

リボンの「編集」から「移動」をクリックします。



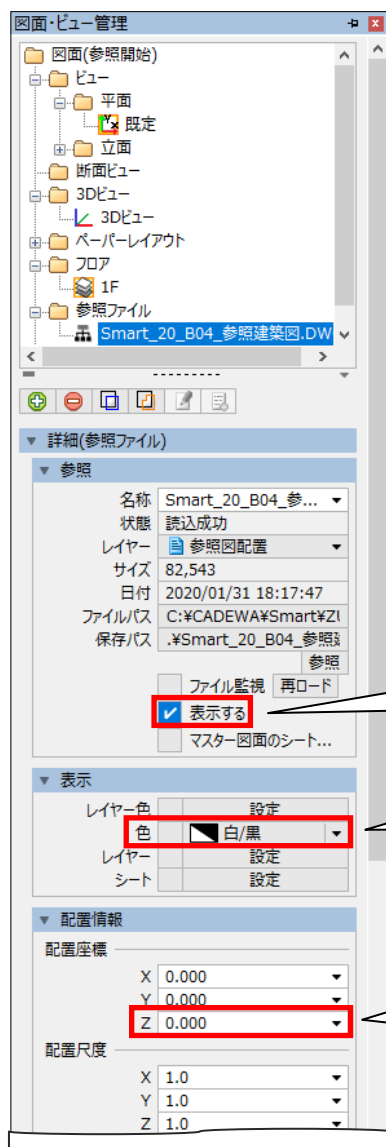
処理元原点を指示します。
処理先原点を指示し位置を合わせます。





「参照ファイル」情報の確認

「図面・ビュー管理」で参照しているファイルを選択すると、参照内容の確認と変更が行えます。



参照ファイルの表示ON/OFFを指定できます。

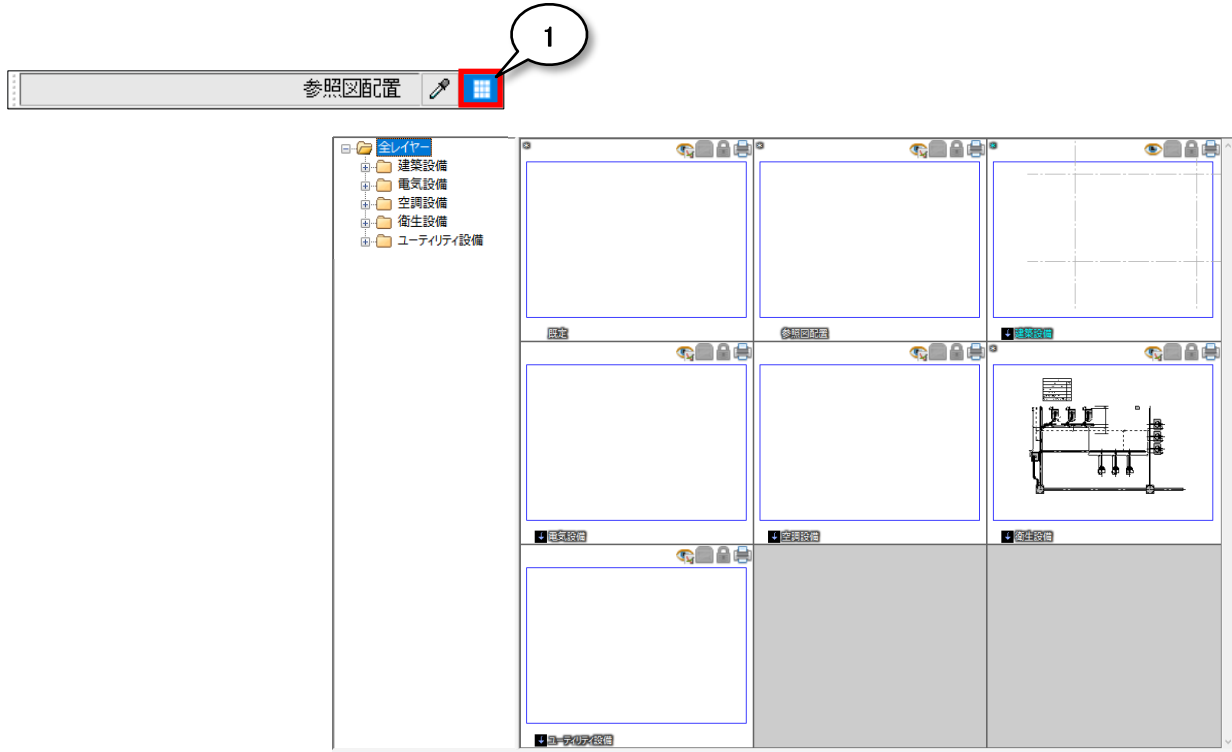
参照ファイルの表示色を指定できます。

参照ファイルを表示する高さを指定できます。(フロア図面を重ねる際は、その階のフロアレベルを入力します。)

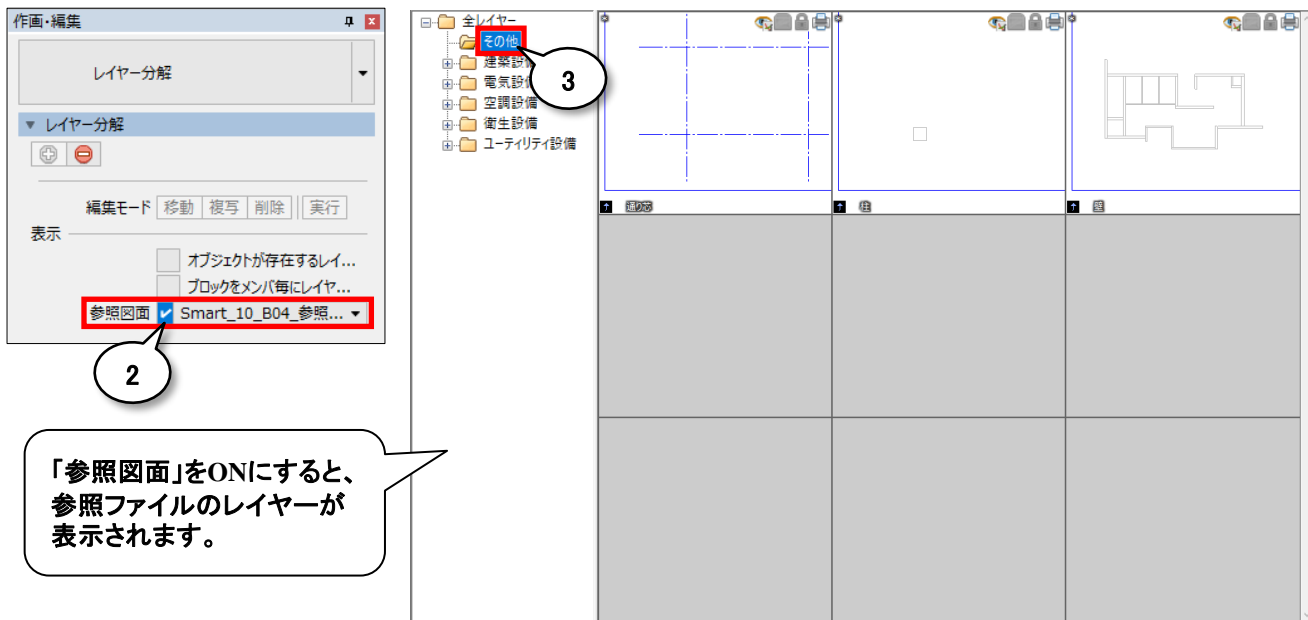
2. レイヤー分解して参照ファイルのレイヤー状態を確認しましょう

➤ 図面のレイヤー分解

レイヤーパネルの「レイヤー分解」ボタンをクリックします。



「参照図面」をONにし、「その他」フォルダをクリックします。



レイヤーパネルの「レイヤー分解」ボタンをクリックします。

